

おかやましんきんホームバンキングサービス利用規定

第1条 おかやましんきんホームバンキングサービスの概要

1. おかやましんきんホームバンキングサービス（以下「本サービス」といいます。）は、契約者ご本人（以下「依頼人」といいます。）が所有するVALUXサービス専用端末（インターネットに接続された機器。以下「端末機」といいます。）による依頼にもとづき、次の取引・照会を利用できるサービスです。
 - （1）本サービスの利用口座として届出された依頼人名義の預金口座（以下「支払指定口座」といいます。）から、指定金額を引落しのうえ、依頼人が指定した当金庫本支店または当金庫以外の金融機関の国内本支店の預金口座（以下「入金指定口座」といいます。）宛に振込依頼の発信や、振替処理をおこなう取引。
 - （2）支払指定口座につきおこなう所定の照会。
2. 入金指定口座への入金は、次の方法で取り扱います。

支払指定口座と入金指定口座とが同一店舗内でかつ同一名義の場合は、「振替」として取り扱います。その他の場合は、「振込」として取り扱います。
3. 本サービスの利用に関する契約は、依頼人が当金庫所定の申込書を作成して当金庫に提出し、当金庫が当該申込を受付した場合に成立するものとし、契約成立後に当金庫において事務処理が完了したのち、本サービスの利用が可能となります。

第2条 電子証明書の利用

1. 依頼人は、本サービスの利用に際して、（株）NTTデータが提供するVALUXサービスにおいて発行される電子証明書（以下「証明書」といいます。）を同社が定める方法および操作方法にもとづき取得し、端末機に格納のうえ、使用してください。
2. 当金庫で受信した証明書情報が本条第1項の証明書と一致した場合、当金庫は送信者を依頼人とみなし、依頼人本人がその内容に同意し、取引行為に有効な意思表示があったものとして取り扱います。
3. 端末機（証明書が格納されている機器。以下同じ。）は、依頼人自らの責任をもって厳重に管理してください。
4. 端末機が紛失、盗難等により第三者に不正使用される可能性がある場合は、依頼人は直ちに当金庫に連絡してください。
5. 証明書の取得および利用に関しては、別途（株）NTTデータまたは同社指定の者が定める料金を直接お支払いください。

第3条 振込または振替の受付等

1. 本サービスにより振込または振替を依頼する場合は、操作手順にもとづいて端末機により操作してください。
2. 前項の操作により、当金庫で受信した暗証番号、証明書情報および支払指定口座の支店番号、

科目コードおよび口座番号（以下「口座番号等」といいます。）が、それぞれ届出の暗証番号、前条第1項の証明書および支払指定口座の口座番号等と一致した場合には、当金庫は、送信者を依頼人とみなし、当金庫が受信した依頼内容を依頼人の端末機に返信します。

3. 依頼人は、前項にもとづき返信された依頼内容を確認のうえ、返信された依頼内容が正しい場合には、承認暗証番号（当金庫本支店の預金口座を入金指定口座とする場合を除きます。）および意思確認コードを入力の上当金庫宛送信してください。
4. 依頼内容については、当金庫が受信した承認暗証番号と届出の承認暗証番号との一致を確認するとともに、振込・振替内容確認画面の意思確認コードを受信した時点で確定するものとします。
5. 当金庫は、前項にもとづき確定した振込・振替内容を依頼人の端末機に送信いたしますので、確認ください。なお、この通知が届かない場合は、直ちに当金庫に照会してください。この照会がなかったことにより生じた損害については、第10条に定める場合を除き、当金庫は責任を負いません。
6. 依頼内容が確定した場合、当金庫は確定した内容にしたがい、支払指定口座から振込金額と第6条第2項の振込手数料との合計金額または振替金額を引落しのうえ、当金庫所定の方法で振込または振替の手続きをします。
7. 支払指定口座からの資金の引落しは、普通預金規定その他当金庫の定める他の規定にかかわらず、通帳・カードおよび払戻請求書または小切手の提出は不要とし、当金庫所定の方法により取り扱います。
8. この取扱いによる1回あたりの振込金額または振替金額の限度は、当金庫が定める金額の範囲内において依頼人があらかじめ当金庫に対して届け出た金額の範囲内とします。また、本サービスの利用時間は、当金庫が別に定める時間内とします。
9. 以下の各号に該当する場合、振込および振替はできません。
 - (1) 振込または振替時に、振込金額と第6条第2項の振込手数料との合計金額または振替金額が支払指定口座より払い戻すことができる金額（当座貸越を利用できる範囲内の金額を含みます。）を超過するとき。
 - (2) 支払指定口座が解約済のとき。
 - (3) 依頼人から支払指定口座についての支払停止の届出があり、それにもとづき当金庫が所定の手続きをおこなったとき。
 - (4) 差押等やむを得ない事情があり、当金庫が支払を不相当と認めたとき。
 - (5) 振替取引において、入金指定口座が解約済などの理由で入金できないとき。
10. 振込および振替取引において、入金指定口座への入金ができない場合には、振替金額を当金庫所定の方法により、当該取引の支払指定口座へ戻し入れます。

なお、振込取引において、入金指定口座への入金ができない場合には、組戻し手続きまたは振込変更手続きにより処理します。

第4条 依頼内容の変更、組戻し

1. 振込取引において、依頼内容（受取人の預金種目、口座番号および口座名義人に関する事項を

いう。以下本項において同じ。)の確定後にその依頼内容を変更する場合には、当該取引の支払指定口座がある当金庫本支店の窓口において、依頼人が次の訂正の手続きをしていただくことにより、変更を実施します。

- (1) 当金庫所定の振込変更依頼書に、当該取引の支払指定口座にかかる届出の印鑑により記名押印して提出してください。この場合、当金庫所定の方法により本人確認をおこなわせていただきます。
 - (2) 当金庫は、振込変更依頼書に従って訂正依頼電文を振込先の金融機関に発信します。
2. 振込取引において、依頼内容の確定後にその依頼を取りやめる場合、または振込先の金融機関名、店舗名もしくは振込金額を変更する場合には、当該取引の支払指定口座がある当金庫本支店の窓口において、依頼人が次の手続きを実施していただくことにより、組戻しを実施します。
- (1) 当金庫所定の振込組戻依頼書に、当該取引の支払指定口座にかかる届出の印鑑により記名押印して提出してください。この場合、当金庫所定の方法により本人確認をおこなわせていただきます。
 - (2) 当金庫は、振込組戻依頼書に従って組戻依頼電文を振込先の金融機関に発信します。
 - (3) 組戻しされた振込資金は、振込組戻依頼書に指定された方法により返却します。現金で返却を受けるときは、当金庫所定の受取書に届出の印鑑により記名押印して提出してください。この場合、当金庫所定の方法により本人確認をおこなわせていただきます。
3. 前2項の場合において、振込先の金融機関がすでに振込通知を受信しているときは、訂正または組戻しができないことがあります。この場合には、受取人との間で協議してください。
4. 振込変更依頼書または振込組戻依頼書等に使用された印鑑と届出の印鑑とを相当の注意をもって照合し、相違ないものと認めて取扱った場合、それらの書類につき偽造、変造その他の事故があってもそのために生じた損害について、当金庫は責任を負いません。
5. 振替取引の場合には、依頼内容の確定後は依頼内容の変更または依頼の取りやめはできません。
6. 組戻しの成否にかかわらず、第6条第3項に定めるとおり組戻し手続きには別途手数料が発生します。

第5条 照会

1. 本サービスにより照会をおこなう場合は、操作手順にもとづいて端末機により操作してください。
2. 前項の操作により、当金庫で受信した依頼人情報が、届出の依頼人情報と一致した場合、当金庫は送信者を依頼人とみなし、当金庫が受信した照会内容に対応する情報を依頼人の端末機に返信します。
3. 前項にもとづき当金庫が返信した情報につき、依頼人からの訂正依頼、その他取引内容に変更訂正があった場合には、当金庫はすでに返信した情報について変更または取消をすることがあります。

第6条 手数料等

1. 本サービス利用期間中は、毎月当金庫所定の基本手数料をお支払いください。

2. 本サービスにより振込をする場合には、当金庫所定の振込手数料をお支払いください。
3. 振込取引の組戻し手続きをおこなった場合は、当金庫所定の組戻し手数料をお支払いください。

第7条 取引内容の確認

1. 本サービスにより取引をおこなった場合は、すみやかに普通預金通帳、定期預金通帳、積立定期預金通帳等への記入または当座勘定照合表により取引内容を照合してください。
万一、取引内容に相違がある場合は、直ちにその旨を取引店に連絡してください。
2. 依頼人と当金庫の間で取引内容、残高等に疑義が生じたときは、当金庫が保存する電磁的記録等の記録内容を正当なものとして取り扱います。ただし、かかる記録内容が事実と異なることを依頼人が証明した場合にはこの限りではありません。

第8条 暗証番号等の管理

1. 端末機、証明書情報および暗証番号は、依頼人自らの責任をもって厳重に管理してください。
2. 端末機は、常に依頼人本人の占有・管理下に置かれるものとし、他人への貸与等はおこなわないでください。
3. 端末機、証明書情報、暗証番号および承認暗証番号は、当金庫所定の方法により指定してください。また、これらの指定にあたっては、他人から推測可能な番号の指定は避けるとともに、他人に知られないように厳重に管理してください。
4. 端末機、証明書情報、暗証番号等（前項に定める各種暗証番号をいう。以下同じ。）につき、盗取もしくは不正使用等の事実またはそのおそれがある場合は、当金庫に直ちに連絡してください。

第9条 免責事項

1. 災害・事変、裁判所等公的機関による措置等のやむを得ない事由により、取扱いが遅延したり不能となった場合、そのために生じた損害について、当金庫は責任を負いません。
2. 当金庫の責によらない機器等の障害、電話・インターネットの不通ならびに証明書の不備等により生じた損害について、当金庫は責任を負いません。なお、回線等の切断・障害等により取扱いが成立したことが不明な場合、取扱内容をお取引店にご確認ください。
3. この取扱いによる振込または振替依頼の受付の際に送信された暗証番号、承認暗証番号、証明書情報および支払指定口座の口座番号等と、届出の暗証番号、承認暗証番号、証明書情報および支払指定口座の口座番号等との一致を確認して取扱った場合、端末機、証明書情報および暗証番号等につき不正使用その他の事故があっても、当金庫の暗証番号管理に不備があった等の特段の事由がない限り、そのために生じた損害について当金庫は責任を負いません。
ただし、端末機、証明書情報、暗証番号等の盗取等により不正におこなわれた振込等の損害である場合、個人の依頼人は第10条の定めに従い補償を請求できるものとします。
4. 電話回線等の盗聴等により依頼人の暗証番号、取引情報等が漏洩した場合、当金庫が所定の安全措置を提供している限り、そのために生じた損害について、第10条に定める場合を除き、当金庫は責任を負いません。

5. 当金庫以外の金融機関等の責に帰すべき事由により生じた損害について、当金庫は責任を負いません。

第10条 暗証番号等の盗取等による不正な振込等

1. 端末機、証明書情報、暗証番号等の盗取等によりおこなわれた不正な振込については、次の各号のすべてに該当する場合、個人の依頼人は当金庫に対して当該振込にかかる損害（手数料や利息を含みます）の額に相当する金額の補てんを請求することができます。
 - (1) 依頼人が本サービスによる不正な振込の被害に気付かれた後、当金庫に速やかにご通知いただいていること。
 - (2) 当金庫の調査に対し、依頼人から十分な説明をいただいていること。
 - (3) 依頼人が警察署への被害事実等の事情説明をおこない、その捜査に協力されていること。
2. 前項の請求がなされた場合、不正な振込が本人の故意による場合を除き、当金庫は、当金庫へ通知がおこなわれた日の30日（ただし、当金庫に通知することができないやむを得ない事情があることを依頼人が証明した場合は、その事情が継続していた期間に30日を加えた日数まで遡った期間とします。）前の日以降になされた不正な振込にかかる損害（手数料や利息を含みます。）の額に相当する金額（以下「補てん対象額」といいます。）を補てんするものとします。

ただし、当該振込がおこなわれたことについて、依頼人に過失があるなどの場合には、当金庫は補てん対象額の全部または一部について補てんいたしかねる場合があります。
3. 前項の定めは、第1項に係る当金庫の通知が、端末機、証明書情報、暗証番号等の盗取等（当該盗取等がおこなわれた日が明らかでないときは、不正な振込が最初におこなわれた日。）から、2年を経過する日後におこなわれた場合には、適用されないものとします。
4. 第2項にかかわらず、次のいずれかに該当する場合、当金庫は補てんいたしません。
 - (1) 不正な振込がおこなわれたことについて当金庫が善意かつ無過失であり、かつ次のいずれかに該当する場合
 - ① 依頼人の配偶者、二親等内の家族、同居の家族、その他同居人、または家事使用人によっておこなわれた場合。
 - ② 依頼人が、被害状況についての当金庫に対する説明において、重要な事項について偽りの説明をおこなった場合。
 - (2) 戦争、暴動等による著しい社会秩序の混乱に乗じて、またはこれに付随して不正な振込がおこなわれた場合

第11条 届出事項の変更

1. 当金庫への届出事項に変更がある場合は、当金庫所定の書面により取引店に直ちに届け出てください。この届出の前に生じた損害について、第10条に定める場合を除き、当金庫は責任を負いません。
2. 前項による届出事項変更の届出がなかったことにより、当金庫からの通知または送付する書類等が延着または到達しなかった場合には、通常到達すべき時に到達したものとみなします。

第12条 解約

本サービスは、当事者の一方の都合で書面によりいつでも解約することができます。また、1年以上にわたり、本サービスによる振込、振替または照会が発生しない場合、当金庫はあらかじめ書面で通知のうえサービスの提供を中止することがあります。

第13条 届出印

1. 本サービスにかかる届出事項の変更、解約等には、お届けの印鑑を使用してください。
2. 当金庫が諸届その他の書類に使用された印鑑と届出の印鑑を相当の注意をもって照合し、相違ないものと認めて取り扱った場合、それらの書類につき偽造、変造その他の事故があってもそのために生じた損害については、第10条に定める場合を除き、当金庫は責任を負いません。

第14条 規定の準用

この規定に定めのない事項については、普通預金規定（総合口座取引規定を含みます。）、定期預金規定、積立定期預金規定、振込規定、各種カードローン規定および当座勘定規定ならびに当座勘定貸越約定書により取り扱います。

第15条 サービス内容・規定の変更

本サービスの内容およびこの規定について、当金庫はその裁量により変更することができます。当金庫が変更を適宜の方法により開示または通知した後におこなわれた本サービスの利用については、変更後の内容が適用されます。

以 上

2026年1月1日現在